

令和5年4月1日から、校名変更により麻生支援学校になりました。

令和4年度に引き続き、2年目を迎えました校長の山崎明久です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、学校の名称が養護学校から支援学校に変更となったわけですが、私たち教職員はその意義をとらえて教育を実践していくことが大切であると考えています。

「養護」という意味には、「未熟な子供が安全かつ健康に育つように世話をすること」とあります。また、「支援」という意味には「力を貸して助けること」とあります。

児童・生徒の「やってみたいという意欲」や「わかった!できた!という実感」を引き出すために、必要な手立てを講じるなどの「支援教育」を実践してまいります。

さて、この度「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」を作成し、保護者の皆様には書面で配布をしました。

これは、令和4年度に行った「教職員の事故・不祥事防止の取組」において、日ごろの指導・支援場面で児童・生徒に対して接するうえで心がけていることをまとめた成果物です。

私たち麻生支援学校の教職員は、指導・支援において、このようなかかわりを当たり前のこととして行っていますよ、という宣言といってもよいでしょう。

この「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」は、完成ではありません。日々の教育活動の場面で新たに気付いたことや保護者、関係者の皆様からの意見を取り入れながら、さらに内容を充実させていきたいと考えています。

麻生支援学校のホームページをご覧いただいた方にもダウンロードできるようにしてございますので、よろしければどうぞご活用ください。